

石狩地区 教育経営研究会

- 1 目的 教育経営の充実を期し、今日的教育課題について研究を深める。
- 2 主催 北海道小学校長会、北海道中学校長会、石狩管内小中学校長会
- 3 日時 令和3年10月5日(火)
- 4 会場 オンライン開催
- 5 参加者 石狩管内小中学校長会員他(21名)
- 6 日程 15:00~15:10 開会式
15:10~15:30 全国・全道情勢報告
15:30~15:45 道小・道中からの回答
15:45~15:50 道小・道中への質疑応答並びに要望
15:50 閉会

7 開会式

①主催者挨拶	石狩管内小中学校長会	会長	鹿野 秀一
②講師団挨拶	北海道中学校長会	会長	三浦 利章 氏
	北海道小学校長会	事務局次長	山村 健史 氏
	北海道小学校長会	情報部副部長	村上 智樹 氏
	北海道中学校長会	経営部幹事	畠山 学 氏

8 全国・全道情勢報告

北海道中学校長会 会長 三浦 利章 氏

(1) デジタル教科書について

- ・文科省は本年度、小・中学校にデジタル教科書を提供する学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業を開始。
- ・この事業には、5月時点において全都道府県で実施され、全自治体の77%に当たる1377自治体が参加している。
- ・令和6年度からの本格導入に向け、標準的に備える最低限の機能や操作性などの技術的な課題を検討するワーキンググループの設置が提案された。

(2) 教育再生実行会議 内容について

- ・新型コロナウイルス後の教育の在り方に関する第12次提言をまとめ、小・中学校、高校で子どもの学習データを指導に活用することなどを要望した。また、検討課題だった秋季入学の導入は制度移行期の学校や子どもへの影響が大きいとして見送った。

(3) 教職員に関する内容について

- ・国家公務員の定年を現行の60歳から65歳まで段階的に引き上げる「国家公務員法等の一部を改正する法律」が6月11日に公布され、令和5年度から定年年齢を段階的に引き上げ、13年度以降に65歳とすることとなった。

9 道小・道中からの回答

北海道中学校長会 会長 三浦 利章 氏

(1) 働き方改革について

【回答（抜粋）】

校務支援システム導入、オンラインシステムの確立、人的支援・環境整備、部活動改革の推進、専門スタッフ・外部人材の拡充と地域格差の解消等、道教委へ引き続き働きかけていく。「働き方改革」は特効薬のない総力戦であるため、石狩での成功例なども事務局にお知らせ頂きたいと考える。

(2) 小中一貫教育の研究推進について

【回答（抜粋）】

将来的には検討する時期が来るかもしれないが、現時点では全連小、全日中の研究主題に基づいた研究を行っていることをご理解いただきたい。なお、小中が一体となって研究を行っている地区に関しては、道小道中それぞれの成果を持ち寄るなど、より深い学びに機能する地区研究の実践をお願いしたい。

10 道小・道中への質疑応答並びに要望

【質問】

- (1) 中学校での少人数学級の実現についての情報提供をおねがいしたい。
- (2) 学習支援員、スクールサポートスタッフの次年度以降確保を要望してほしい。

【回答（抜粋）】

- (1) 中学校での少人数学級は実現されていないが、今後も粘り強く要望していく。
- (2) 学習支援・スクールサポートスタッフについて配置拡充を希望し、今後も継続していく。

11 閉会